

社会福祉学部 <令和4年度入試 編入社会人> (小論文)

【出題意図】

的確な読解力と、自分の考えを論述する際の論理的展開力および文章表記力をみる。

【解答】

問1 (解答例)

両者には作者性と構造性という質的な違いがある。作者性に関して、本は作者名や責任の所在が明確であるのに対し、インターネット情報では作者名が匿名化され責任の所在も曖昧である。また、構造性に関して、インターネット情報は「情報」であり、本の内容は「知識」である。「情報」とは要素であり「知識」とは要素が集まって形作られる体系である。「知識」とは様々な概念や事象の記述が相互に結びつき、全体として体系をなす状態を指す。単なる情報やデータの集まりはいかに大量であっても知識とは言えない。(237字)

(採点基準)

- ・本文の内容を的確に理解し、「情報」と「知識」の質的な違いが明記されている
- ・字数制限が守られている
- ・誤字や脱字のない文章になっている

問2 (解答例)

個別の解答が予想されることから、解答例は示さない

(採点基準)

- ・本文の内容を的確に理解し、かつ具体的な事例を挙げながら自分の考えを論理的に述べている
- ・要素を体系化していく方法、または論理の創造的展開に触れている
- ・字数制限が守られている
- ・誤字や脱字のない文章になっている